

3月20日社高校は選抜甲子園の初戦を迎えました。そこに向けての応援記事を毎日新聞、神戸新聞が掲載していました。毎日新聞(上段)はマネージャーとチア、吹奏楽、書道部と応援団の裏方を紹介。加東市岩根市長のコメントも掲載されていました。神戸新聞は、社高校前のニューコムの記事とJAからの特産品寄付、そして社高校の戦い方についての記事です。20日当日は5時学校出発となっていることから、保護者の皆様にもご協力いただきました。こういった記事で盛り上がり、生徒達も体調不良等若干の欠席はありましたが、学校からバスで球場に乗り込むことができました。一方の選手達も、5時から朝食を摂り、5時45分バスに乗り込んで宿舎を出発し、球場に向かいました。応援団は7時30分までには球場に到着。8時の開門を待ってアルプス席でスタンバイ。吹奏楽は、OBも多数駆けつけ大応援団になりました。平日ということもあり、一般の方々は少なめでしたが、社高校のアルプス席は結構埋まっていたと思います。両校の練習中には学校紹介ビデオも流れ、生活科学科生徒作の弁当を野球部員に手渡しているところがビジョンに映し出されました。試合開始前には小学生による始球式も行われ、その後試合は始まりました。先発は高橋投手。初回、2回とうまく相手に攻められ2点のリードを許しましたが、4回裏に隈選手のタイムリーで1点を返し、追いあげムードかと思われたのですが、5回表に長打を浴び点差を広げられ、さらに7回にダメ押し1点を取られ、1-5となり本校の最終回へ。相手のうまい継投に攻めきれず、初戦敗退となりました。人文字も写真の通りくっきりと見えて大成功。スタンドの雰囲気は最高に良かったと思います。また今回はエラーもなく非常に引き締まった試合でした。選手達も昨年の秋の大会に比べると非常に落ち着いて試合に臨んでいるのがよ



上段：毎日新聞
下段：神戸新聞



校の練習中には学校紹介ビデオも流れ、生活科学科生徒作の弁当を野球部員に手渡しているところがビジョンに映し出されました。試合開始前には小学生による始

球式も行われ、その後試合は始まりました。先発は高橋投手。初回、2回とうまく相手に攻められ2点のリードを許しましたが、4回裏に隈選手のタイムリーで1点を返し、追いあげムードかと思われたのですが、5回表に長打を浴び点差を広げられ、さらに7回にダメ押し1点を取られ、1-5となり本校の最終回へ。相手のうまい継投に攻めきれず、初戦敗退となりました。人文字も写真の通りくっきりと見えて大成功。スタンドの雰囲気は最高に良かったと思います。また今回はエラーもなく非常に引き締まった試合でした。選手達も昨年の秋の大会に比べると非常に落ち着いて試合に臨んでいるのがよ

くわかり、随所に好プレーも見せてくれました。あと一本が出ず敗戦となりましたが、この悔しさをバネに夏を目指してくれると思います。加東市からも多くの方が駆けつけ、声援を送って下さいました。本当にありがとうございました。保護者、地域の皆様をはじめ、ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。そして決まってから約1ヶ月あまりで生徒会を動かし応援団をまとめ、チアの指導をし、吹奏楽をまとめていただいて先生方、本当にありがとうございました。短い春となりましたが、素晴らしい経験をさせていただきました。この経験を活かし、社高校は今後も頑張っていきますので、今後ともよろしくお願いたします。

今年は社高校にとって創立110周年を迎える節目の年となります。その前年の令和4年度はすさまじい活躍を生徒が見せてくれました。この勢いを持って令和5年度につなぐことができるよう今一度足下をしっかりと見つめ、謙虚に感謝の気持ちを持ち、自らを磨き、成長を感じられる一年にできるようにしていきたいと思ひます。